

平成 26 年 3 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 藤原 正明
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理本部シニアディレクター 清田 圭一
(TEL. 03-6383-3746)

**(開示事項の経過) 完全ヒト ADLib®システム開発の進展に関するお知らせ
～「完全ヒト ADLib®システム完成」についてのご報告～**

このたび、トリ B リンパ球由来 DT40 細胞の軽鎖および重鎖の抗体遺伝子領域に対し、ヒトの抗体遺伝子を導入した優良細胞株をもとに多様化ライブラリを作製して検証いたしましたところ、“実用化レベル”の「完全ヒト ADLib®システムの構築」に成功いたしましたので、お知らせいたします。

当社では平成 25 年 6 月 11 日に、「(開示事項の経過) 完全ヒト ADLib®システム開発の進展に関するお知らせ ～「プロトタイプ完成」についてのご報告～」をお知らせしておりましたが、今後も優れた多様化能を有する優良細胞株の作製・選抜を継続して行い、既存の ADLib®システムと同等あるいはそれ以上の多様性を持つ実用化ライブラリを拡充させてまいります。また、本技術開発の成果をもとに、国内外の製薬企業への完全ヒト ADLib®システムを基盤としたアライアンス契約獲得の取り組みを加速して進めてまいります。

なお、今回の成果に関する知的財産権強化のための対応も適宜進めております。

当社は、今回の成果を受けて、当社ビジョンである「100%の治療効果を追求するヘルスケア・イノベーター」の達成ため、「パンデミック感染症対応」ならびに「究極のオーダーメイド医療」の実現を目指した事業戦略を具体化する取り組みを開始いたします。ADLib®システムで創出された抗体の付加価値を高めるため、当社の現有のスキルや経験だけに頼らず、他社の技術、ユニークなターゲット、さらには当社に無い経験やノウハウも積極的に取り入れてまいります。そうした努力の中で最終受益者である患者様が望む製品サービスの提供を加速し、ひいては当社の存在意義を広く認めていただくことを目指しております。

今回の成果は今後の当社の事業の進捗に寄与すると考えられますが、現時点では、今期の業績に及ぼす影響は軽微であります。

【完全ヒトADLib®システムについて】

DT40 細胞のもつニワトリ抗体の遺伝子の主要部分をヒト抗体の遺伝子に置き換えることです。当社では、このヒトの抗体を作り出す“実用化レベル”のADLib®システムを構築することを今期の研究目標として掲げております。

【プロトタイプについて】

実験的に少数作られるモデルのことです。“実用化レベル”の完全ヒトADLib®システムに必要な多様性や抗体の発現量などを満たす完成品ではありませんが、実用化のためにクリアすべき重要な要件を全て兼ね備えたものです。

以上

補足説明資料

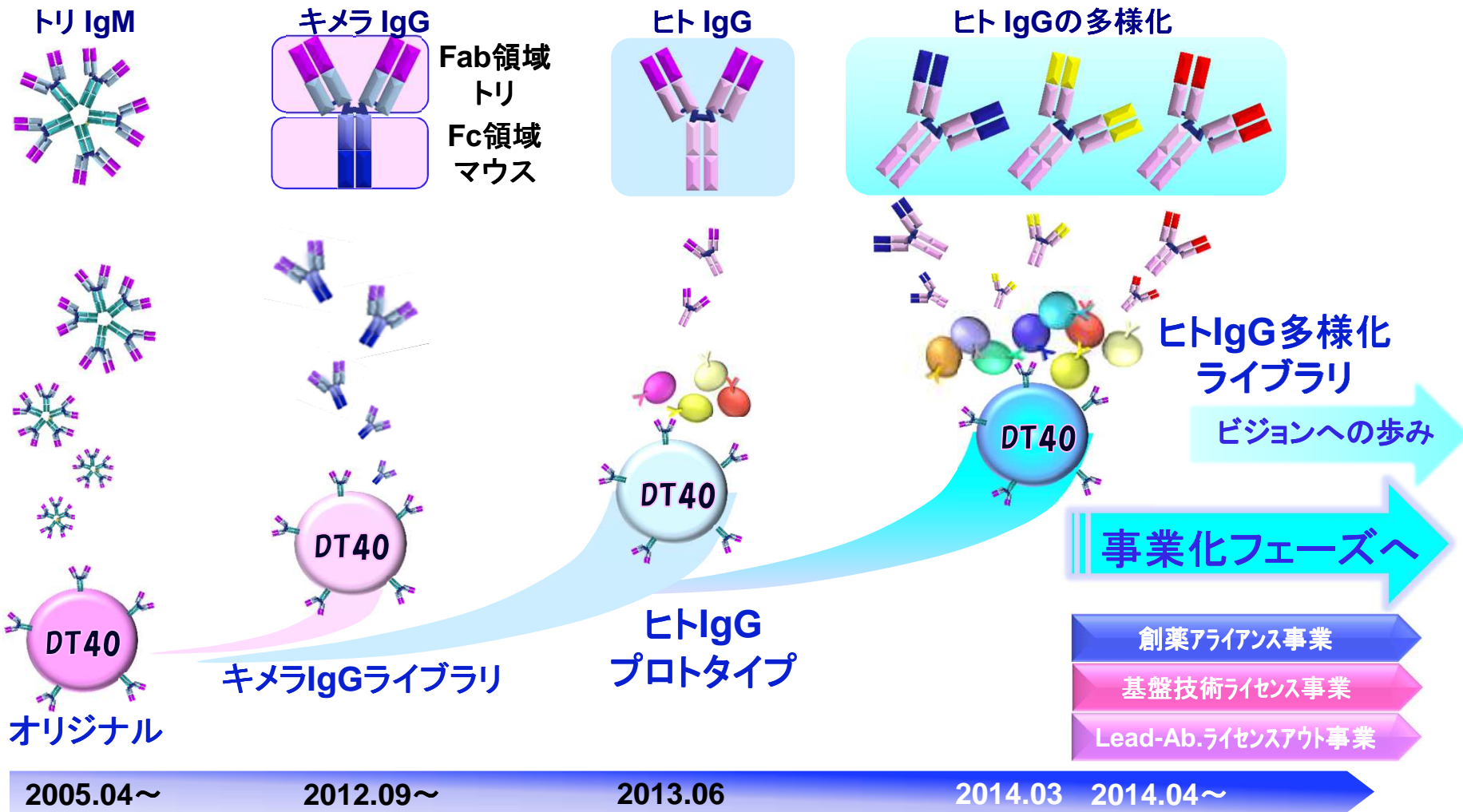
株式会社カイオム・バイオサイエンス

2014年3月18日



完全ヒト抗体を産生するADLib®システムの実用化

ADLib®システムの進化;ヒトIgGライブラリ構築から事業化フェーズへ



従来のADLibを中心とした基盤技術の改良を継続し完全ヒトADLibに応用

抗体作製基盤技術をベース
にした新規技術開発

ライブラリの多様性を飛躍的
に高める新規技術

高親和性・高機能の抗体を効
率的に得るための新規技術

抗体工学の知識をベースにし
た抗体最適化技術

クオリティの高いタンパク質工
学技術

完全ヒトIgGライブラリの
完成・実用化

究極のヒト抗体
作製技術基盤
の完成

倫理性と透明性

Ethics & Transparency

進化と創造

Evolution & Creation

交差と交流

Chiasma & Global Exchange

常に人命を最優先に考え、健全で誰からも愛される企業に！
個人と企業のたゆまぬ成長により、常に未来を創造する企業に！
地域と領域を超えた可能性を追求し続ける企業に！

